

模範解答

氏名

受験番号

421

421

受験番号

令和2年度 化学 解答用紙 (その1)

問1	ア 凝縮(凝結)					イ 升華					ウ 過冷却(過冷)																						
問2	吸	収	し	た	熱	エ	ネ	ル	ギ	ー	が	物	質	の	状 15																		
	態	変	化	の	み	に	使	わ	れ	る	た	め	。		30																		
問3	(c), (d), (h), (i)																																
問4	(1)	ファンデルワールス力					(2)	$176/a^3N_A$ [g/cm ³]																									
問5	Br (Br ₂ も可), Hg																																
問6	計算の過程 混合気体中のメタン、一酸化炭素、水素の 体積をそれぞれ x, y, z mL とすると, $\begin{array}{l} \text{CH}_4 + 2\text{O}_2 \rightarrow \text{CO}_2 + 2\text{H}_2\text{O} \\ \text{反応前 } x \quad 2x \\ \text{反応後 } \quad x \quad (2x) \end{array} \qquad \begin{array}{l} \text{CO} + 1/2\text{O}_2 \rightarrow \text{CO}_2 \\ \text{反応前 } y \quad 1/2y \\ \text{反応後 } \quad y \end{array}$ $\begin{array}{l} \text{H}_2 + 1/2\text{O}_2 \rightarrow \text{H}_2\text{O} \\ \text{反応前 } z \quad 1/2z \\ \text{反応後 } \quad (z) \end{array}$ 混合気体の体積が 90 mL であることから以下の式が成り立つ。 $x + y + z = 90$ 完全燃焼後の体積が 148 mL、水の体積は無視できることから以下の式が成り立つ。 $290 - (2x + 1/2y + 3/2z) = 148$ 水酸化カルシウム水溶液に吸収されるのは CO ₂ なので以下の式が成り立つ。 $148 - (x + y) = 89$ 3つの式より, $x = 44, y = 15, z = 31$ メタン、一酸化炭素、水素のモル分率は, メタン : $44/90 = 0.4888.. \approx 0.49$ 一酸化炭素 : $15/90 = 0.1666.. \approx 0.17$ 水素 : $31/90 = 0.3444.. \approx 0.34$																																
	答 メタン 0.49 一酸化炭素 0.17 水素 0.34																																

(採点欄)

1

1

氏 名

受 験 番 号

422

422

受 験 番 号

令和2年度 化 学 解答用紙 (その2)

2

問
1

均一(系)触媒

問
2

活	性	化	エ	ネ	ル	ギ	一	が	よ	り	小	さ	く	な
つ	た	た	め	。										15

問
3

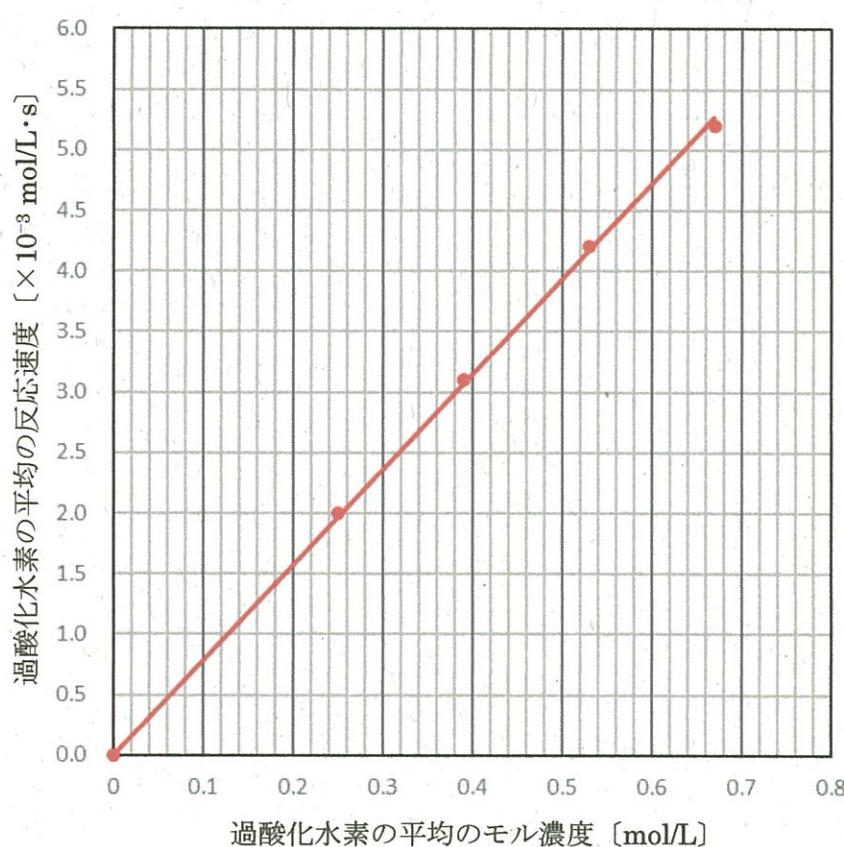
(d)

問
4

0.74 mol/L

問
5

ケ (b)	コ (c)	サ (h)		
過酸化水素の平均の反応速度 [$\times 10^{-3}$ mol/L·s]	オ 5.1 (5.2)	カ 4.2	キ 3.1	ク 2.0

問
6

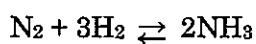
(採点欄)

2

2

令和2年度 化学 解答用紙 (その3)

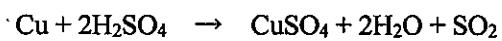
3

問
1

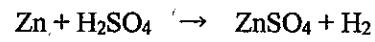
(a)



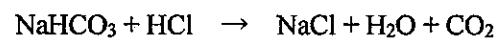
(b)

問
2

(c)



(d)

問
3

(b), (c)

問
4

(過酸化水素中の酸素原子の酸化数)

-1

(酸素ガス中の酸素原子の酸化数)

0

問
5

(化学反応式)



(化合物 A の名称)

次亜塩素酸ナトリウム

(酸化数)

+1

問
6

化 合 物 A は , 強 い 酸 化 作 用 を も つ

15

た め 。 20

(採点欄)

3

3

氏名

受験番号

424

424

令和2年度 化学 解答用紙 (その4)

受験番号

4

	化合物A 	化合物B 	
問1	化合物C 	化合物D 	
	化合物E 	化合物F 	
	化合物G 		
問2	Cu ₂ O		
問3	ア アセチル(アミド)	イ アセトアニリド	ウ さらし粉
	エ アニリンブラック	オ 塩化ベンゼンジアゾニウム	
問4	2 -NO ₂ + 3Sn + 14HCl → 2 -NH ₃ ⁺ Cl ⁻ + 3SnCl ₄ + 4H ₂ O		
問5			

(採点欄)

4

4

氏 名

受 驗 番 号

425

425

令和2年度 化 学 解答用紙 (その5)

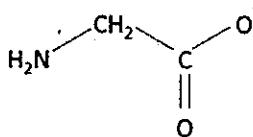
受 驗 番 号

5

問 1	ア ラテックス	イ イソプレン	ウ 加硫
-----	---------	---------	------

問 2	計算の過程 構成単位数の比が 1:4 であるため、SBR のくり返し単位の式量は $104+54\times 4 = 320$ SBR 4.0 g 中のくり返し単位をモル数に換算すると 0.0125 mol Br ₂ の付加反応はブタジエン単位に含まれる二重結合に起こる SBR 0.0125 mol と反応する Br ₂ は $0.0125 \times 4 = 0.05$ mol よって、消費される臭素は $160 \times 0.05 = 8.0$ g
-----	--

答 8.0 g

問 3	(1) グリシン	(2) 構造式 
-----	-------------	--

問 4	チロシン
-----	------

問 5	PbS
-----	-----

問 6	(1) アラニン、システィン、グルタミン酸 (2) 計算の過程 トリペプチド C の分子量は $89+121+147-18\times 2 = 321$ 32.1 g のトリペプチドは 0.1 mol トリペプチド C はグルタミン酸を含むため、C 末端以外に 1ヶ所カルボキシ基を有するため、0.1 mol のトリペプチドをエチルエステル化するには 0.2 mol のエタノールが必要である。 -COOH → -COOC ₂ H ₅ となると分子量が 28 増加する。 エチルエステル化することで $28 \times 0.2 = 5.6$ g 重量が増加した化合物が生じる。 したがって、 $32.1 + 5.6 = 37.7$
-----	--

答 37.7 g

(採点欄)

5

5
